

福井県社会教育推進カンファレンス

- 1 趣 旨 県内の社会教育関係者が一堂に会し、活動発表や情報交換等を通して、学びあい、関わりあいながら交流を深めることにより、県内地域における社会教育の振興を図る。
- 2 日 時 令和6年2月24日（土）14：10～16：30（受付13：50～）
- 3 場 所 福井県産業会館 2F 本館展示場
- 4 主 催 福井県教育委員会、（一財）福井県青年館
- 5 参加者 各市町社会教育担当者、公民館関係職員、社会教育関係団体関係者
福井県社会教育委員、市町社会教育委員 等
- 6 日 程
- 14：10 開 会
 挨拶 福井県教育委員会教育長 豊北 欽一
 （一財）福井県青年館理事長 山崎 栄一

	内 容
14：25	<p>(1)「事業報告」(20分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青年団体活動活性化事業 （一財）福井県青年館 『若者支援委員会の立ち上げと若者の取り組み「上文殊 LABO」』
14：45	<p>(2)「事例発表」(40分) 1発表15分程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○（一社）福井県子ども会育成連合会 会長 井上 満枝氏 「社会教育関係団体活性化事業を活用して（順化子ども会）」 ○ 福井市和田公民館 主事 細川 賢治氏 「公民館におけるインターネット活用による広報」 ○ 質疑応答
15：25	<p><休憩> (10分)</p>
15：35	<p>(3)「グループワーク」ブレインストーミングを用いたKJ法(45分)</p> <p>テーマ：「アフターコロナでの次世代への情報発信と育成について」</p> <p>テーマ設定の趣旨：次世代を担う若者を取り込むことが社会教育の課題の一つである。若者を取り込むための情報発信や育成に関して意見交換することで、福井の社会教育推進を図る。</p> <p>進め方①KJ法による意見交換（1グループ6名程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ②まとめ ③振り返り（全体への共有は事務局が取りまとめ、後日発信） <p>（KJ法・・・付箋を用いて、情報やアイデアを効率的に整理（グルーピング）する手法） （グループ分け・・・参加者名簿より事前に事務局にて行う。）</p>

- 16：20 閉 会
 挨拶 福井県教育庁生涯学習・文化財課長 志尾 武章
- 16：30 解 散